



総合知で社会変革を牽引する大学へ

Kyushu University

VISION 2030

総合知で社会変革を牽引する大学へ

「Kyushu University VISION 2030」は、九州大学が目指す「総合知で社会変革を牽引する大学」を実現するために策定したビジョンです。このビジョンは、「指定国立大学法人」の指定申請を契機に、九州大学の未来を担う若い教職員を含めた全学的な議論を重ねて得た今後10年間の本学の方向性、方針を示すものです。指定国立大学法人とは、世界最高水準の研究教育活動の展開が見込まれる国立大学法人を文部科学省が指定するもので、本学は2021年11月に指定国立大学法人に指定されました。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、社会経済は甚大な被害を受け、人々の行動が大幅に制限されるなど、私たちの日常は大きく変わりました。この劇的な社会情勢の変化の中、新型コロナウイルスと共存しながら人間社会の営みも維持していくwith & beyond コロナ時代の持続可能な社会の再構築が必要です。これまで、大学が培ってきた叡智を結集し、新しい時代の困難な課題への解決策を示していくことが、大学に課せられた重要な役割だと考えて

います。持続可能な社会の発展と人々の多様な幸せ(=well-being)を実現できる社会に貢献していくためには、九州大学も新たなステージへと踏み出さなければなりません。

九州大学が2030年に向けて目指す姿は、多様な「知」と「人材」を結集し、新たな価値創造の基盤となる研究とイノベーションの創出を牽引し、自然科学系と人文社会科学系、さらにはデザインを加えた知による「総合知」によって、社会的課題の解決とそれによる社会・経済システムの変革に貢献する「総合知で社会変革を牽引する大学」です。

そのために、多様なアプローチによる自由闊達な研究と、それらが基盤となって生み出される先端研究や、未来を拓く探求心旺盛な学生を育てる教育により、国際頭脳循環を創出する知のプラットフォームを築き上げることが必要です。そして、このプラットフォームが、秀逸な人材と社会の関心を惹きつけ、「総合知」による新しい価値を創造します。この「総合知」による社会・経済システムの変革の波を、福岡・九州から、日本、アジアそして世界へと広げ、ひいては、大学の研究教育資源の発展に繋がるという好循環を生み出すイノベーション・エコシステムを形成することが必要です。

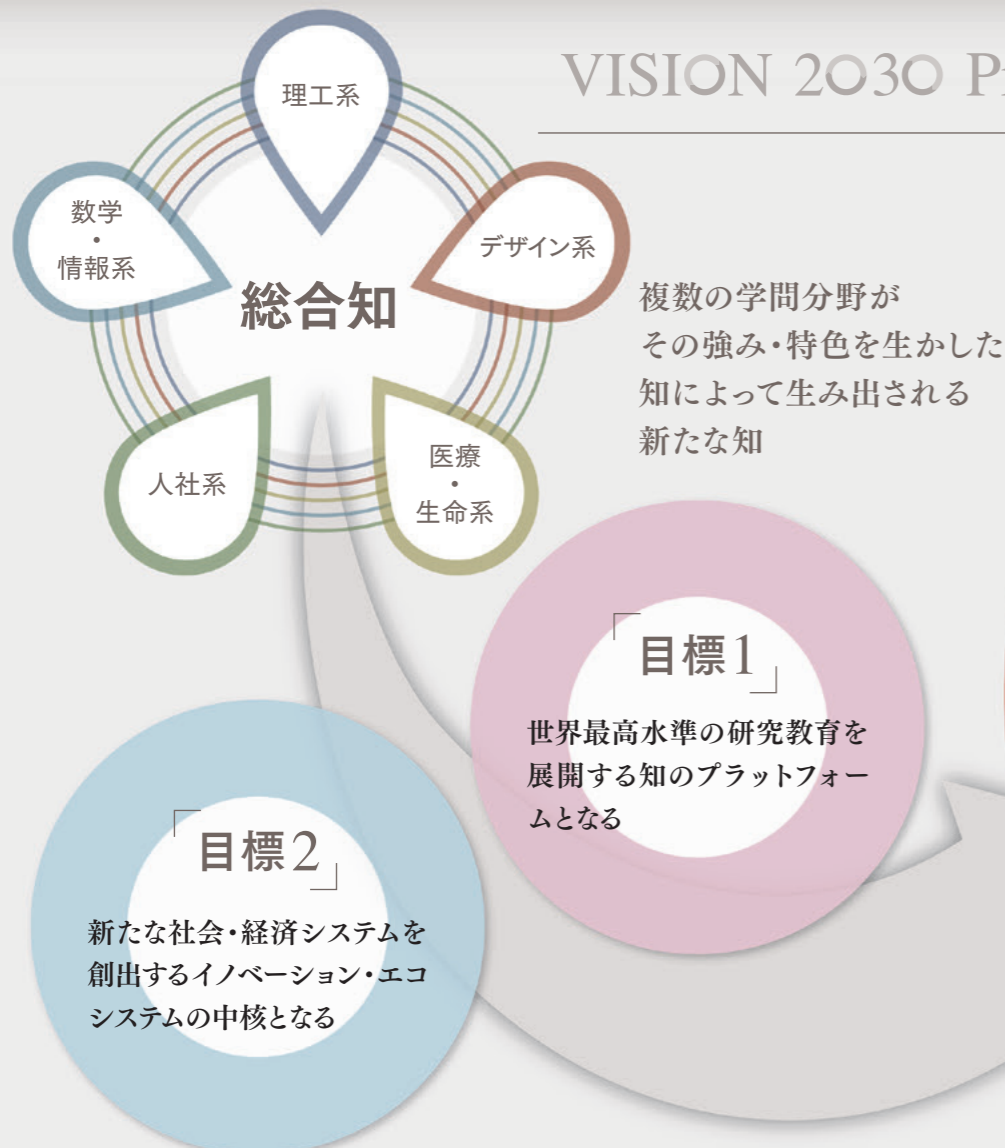
今後、本学が、多くの学生や研究者にとって魅力のある世界最高水準の教育、研究を展開し、国際競争力をもつ各国の大学に伍していくために、歴史と伝統に培われた本学の学問を基盤に、一丸となって「Kyushu University VISION 2030」に基づく新しい取組を進めてまいります。

2021年11月

九州大学総長 石橋 達朗



VISION 2030 Process ビジョン2030へのプロセス



実現に向けた8つのビジョン

- VISION1 ガバナンス** 自律性と多様性を備えたガバナンスで、持続可能な経営体への変革を図る。
- VISION2 DX** 新たな価値を次々に生み出すデータ駆動型の教育、研究、医療を展開し、人々に真の豊かさをもたらす未来社会の実現に取り組む。
- VISION3 教育** 新たな社会をデザインする力と課題を解決する力を有し、グローバルに活躍できる価値創造人材を育成する。
- VISION4 研究** 学術基盤研究から社会変革に貢献する展開研究まで広く研究力を強化し、国際競争力を高めるとともに社会的課題の解決に貢献する。
- VISION5 社会共創** 知の拠点として地域社会やグローバル社会と共生・共創し、研究教育活動を通して社会の持続可能な発展と人々のウェルビーイングの向上に貢献する。
- VISION6 国際協働** 組織的な国際協働を通じて、国際頭脳循環のハブとなり、国際社会においてリーダーとなる人材の輩出及び地球規模の課題解決に貢献する。
- VISION7 医療** 志の高い優れた医療人の育成に努め、最先端医療の創出と質の高い診療の提供に尽力し、人々の期待と信頼に応える最善の医療を追求する。
- VISION8 財務基盤** 多様かつ安定的な財源の確保と運用を行い、持続的・自律的な経営を実現する。

VISION 1

ガバナンス

自律性と多様性を備えたガバナンスで、持続可能な経営体への変革を図る。

エビデンスに基づく戦略的な経営判断、施策立案、評価と資源配分の促進

大学の諸活動に関するデータを収集して分析し、そのエビデンスを生かして大学の経営判断、施策の立案と評価や効果的な資源配分など、持続可能な経営体への変革を促進する。

ステークホルダーとのエンゲージメント強化による外部の多角的な視点や意見の施策への反映拡大

多様なステークホルダーが参画する機会を拡大し、多角的な視点や意見を施策に反映させるなど大学経営の改善を図り、地域の産学官民連携組織とのエンゲージメント強化により、地域社会の発展に貢献する。

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンの促進

本学を構成する全ての職種と職位において国籍、性別や年齢の区別なく、多様な価値観やライフスタイルを持つ人材の雇用・登用を促進し、経営視点、国際視点やエクイティ視点を大学運営に活用する環境を構築する。



ピア・サポーター学生によるアクセシビリティ向上の活動
(背景はキャンパス内に展示された障害者アート作品)

実績内容

- 部局長、若手研究者等と将来構想に関する直接対話を行う「共創・協働制度」
- 大学や部局の将来構想実現に向けて、学内資源を再配分する大学改革活性化制度

VISION 2

DX

新たな価値を次々に生み出すデータ駆動型の教育、研究、医療を展開し、人々に真の豊かさをもたらす未来社会の実現に取り組む。

DXによる新たな社会モデルの研究・発信

「人間中心の社会」という価値観のもと、DXによって実現可能な新たな社会モデルを多様な分野の知の統合により探究し、その成果を社会に発信・共有する。

自らの専門分野に数理・データサイエンス、AIを応用できる学生・研究者の育成

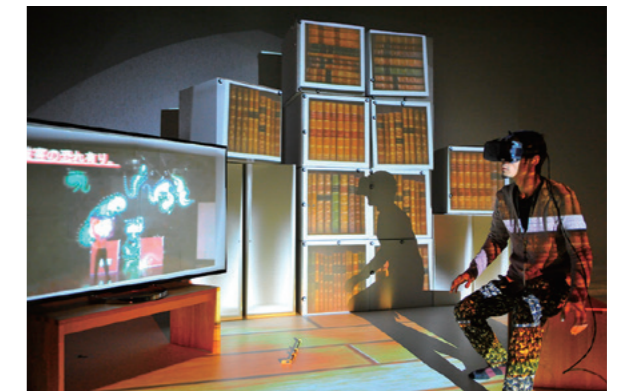
オープンデータ等を活用して数理・データサイエンスやAIを学べる研究教育環境の充実を図り、自らの専門分野にそれらの知識・技術を応用できる学生・研究者を育成する。



教育DXを推進する新たな電子教材の開発

社会変革や社会実装を見据えたDXプロジェクトの推進

研究、教育、医療等のDXによって社会・経済システムの変革につながる新たな価値を創造し、自治体や企業等との協働により、その価値を多層的な地域で展開する。



芸術工学によるバーチャルリアリティに関する実験

実績内容

- 教育ビッグデータの蓄積・分析・利活用と、全学的な数理・データサイエンス教育
- ビッグデータ時代を牽引するデータサイエンティスト、サイバーセキュリティ人材の育成

VISION3

教育

新たな社会をデザインする力と課題を解決する力を有し、グローバルに活躍できる価値創造人材を育成する。

課題解決・価値創造の 視点や発想を学ぶ教育の全学展開

課題発掘・課題解決・価値創造の視点や発想を学ぶ教育を全学展開し、総合知により新たな社会をデザインする力や新たな価値を創造できる力を備えた人材の育成を推進する。

分野融合型学位プログラムの展開による社会的課題の解決を牽引できる 博士人材の育成

「高度な知のプロフェッショナル」を育成する分野融合型学位プログラムなどの展開により、多様な能力や価値観をもった博士人材の育成を推進する。

産業界との連携教育やアントレプレナーシップ教育の充実

産業界と協働したキャリアパスの多様化を図る教育を推進するとともに、組織的なアントレプレナーシップ教育を展開して、新たな価値創造に挑戦する人材を育成する。

学生の多様性にも配慮した総合的な 学生支援

あらゆる学生が充実した学生生活を過ごせる研究教育環境の充実を図るとともに、フェロウシップに代表される経済的支援など、総合的な学生支援を実施する。



課題解決型カリキュラムの
授業風景

実績内容

- アクティブ・ラーニング型授業を導入した「基幹教育」と、文理融合の課題解決型カリキュラムを実施する「共創学部」

VISION4

研究

学術基盤研究から社会変革に貢献する展開研究まで広く研究力を強化し、国際競争力を高めるとともに社会的課題の解決に貢献する。

総合知の創出に向けた 研究戦略機能と支援制度の強化

大学の総合的な研究戦略機能を高めるとともに、効果的な学内資源の配分による研究支援を通じて、学術を発展させる総合知や、社会的課題解決に資する総合知を創出する基盤を強化する。

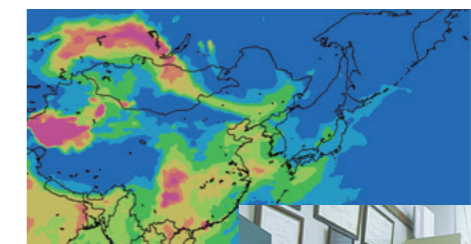
戦略的な資源配分による 先端研究強化と新領域の発掘

戦略的に学内資源を配分し、脱炭素、医療・健康、環境・食料など社会的課題解決に資する先端研究の強化・加速を図るとともに、これに続く新たな研究分野の発掘・育成を促進する。

自由闊達な研究を担う多様な 人材の獲得・育成と研究環境の充実

秀逸な若手・女性・外国人研究者の獲得・育成・定着につなげる多様な制度を一体的に展開するとともに、FQR制度*による研究時間の確保や研究機器の共同利用等を通じて自由闊達な研究を保証する環境の充実を図る。

*FQR制度:Free Quarter for Research制度。教育課程でのクォーター制、デジタル技術の活用等による授業科目の統合等、大学と部局の管理運営会議を原則として開催しない期間を3か月間設定、構成員数・開催頻度を極力少なくするなどにより、教員の教育や管理運営業務の負担軽減を図ることで、自らの研究に集中できる期間を少なくとも1クォーター確保する。



PM2.5など将来の気候変動
予測に向けた研究



カイコバイオリソースを
活用した昆虫新産業の創成

実績内容

- 強みを活かした研究プラットフォームとして「エネルギー」「アジア・オセアニア」の研究教育機構創設

VISION5

社会共創

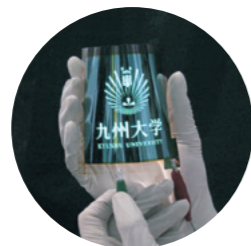
知の拠点として地域社会やグローバル社会と共生・共創し、研究教育活動を通して社会の持続可能な発展と人々のウェルビーイングの向上に貢献する。

産学官民の協働による課題探索やビジョンメイキング

産学官民で組織、制度に捉われない協働の場を形成し、バックキャストによる中長期的ビジョンメイキングや課題探索を進め、産学官民共同プロジェクトの創出を促進する。

社会的課題の解決や社会・経済システムの変革に資する研究成果の社会実装化

イノベーション創出につながる独創的な研究成果をいち早く発掘し、社会との協働、知的財産やベンチャー企業の創出拡大などを通して、福岡・九州からアジアそして世界へと研究成果の社会実装を展開する。



画期的な有機材料・デバイスによるイノベーション

シチズンサイエンス（地域コミュニティと密接に結びついたアウトリーチ活動）の促進

地域でのアウトリーチ活動を通じて、「責任ある研究・イノベーション」の展開を図るとともに、地域コミュニティと密接に結びついた社会実験的な研究教育活動を推進する。



産学連携による次世代燃料電池の実証研究

実績内容

- 大企業との組織対応型連携締結
- 産学官民連携によるオープンイノベーションの推進と地域経済界と一体となったベンチャー支援体制の構築

VISION6

国際協働

組織的な国際協働を通じて、国際頭脳循環のハブとなり、国際社会においてリーダーとなる人材の輩出及び地球規模の課題解決に貢献する。

戦略的な国際連携の推進による国際協働の深化と拡大

本学の強み・特色を生かして国際大学連携コンソーシアムにおいて主導的な取組を展開するとともに、重点交流校の選定と連携強化を行い、国際協働の深化と拡大を図る。

若手研究者の長期的な研究教育連携ネットワークを構築

国内外の若手研究者が国・専門分野、世代を超えて力を養う国際頭脳循環の拠点を形成し、研究教育連携ネットワークの構築と拡大を図る。

外国人教員や留学生が活躍できる研究教育環境の充実

民間等との協働により、留学生や外国人研究者に対する生活支援や受入環境・就学環境の改善を図るとともに、外国人研究者・留学生と日本人研究者・学生との交流・共修を促進する。



充実したサポート体制で国際的な交流や共修を促進



QS-APPLE 2019の主催等による海外機関との連携強化

実績内容

- 高等教育分野における開発協力と国際協力プロジェクトによる国際貢献

VISION7

医療

志の高い優れた医療人の育成に努め、最先端医療の創出と質の高い診療の提供に尽力し、人々の期待と信頼に応える最善の医療を追求する。

新興・再興感染症に対する医療の提供と専門医育成

新型コロナウイルス感染症など新興・再興感染症患者の診療に加え、それを支える関連の医療人を育成し、地域における感染症対策全般に貢献する。

がんゲノム医療中核拠点病院、臨床研究中核病院としての地域医療への貢献

ゲノム情報に基づくがん診療など地域における最先端医療を担い、臨床研究中核病院として革新的医薬品や医療機器開発に貢献する。



国内外の世界各国の医療機関との遠隔カンファレンス

コホート研究やプレジジョンメディシンなど個別化医療の展開

疾患・地域コホートにより臨床情報と検体を集積し、新たに開発する技術で解析して、患者個人の疾患の成り立ちを分子レベルで明らかにし、個別化された最先端医療を実現する。



最先端医療の提供による地域医療への貢献

実績内容

- 安全・安心な質の高い医療の提供と、高度で先進的な新しい診断・治療法・医薬品の開発
- 海外医療機関との協働による遠隔医療プログラムを展開

VISION8

財務基盤

多様かつ安定的な財源の確保と運用を行い、持続的・自律的な経営を実現する。

組織対応型連携の強化による外部資金の拡大

企業等との組織対応型連携を拡大し、社会変革・実装につながる成果の創出を促進して、大型の共同研究や受託研究等の外部資金の獲得につなげ、研究教育活動の高度化に必要な資金の還流を図る。

大学発ベンチャーの創出加速による知財収入等の拡大

多層的なベンチャー支援ファンドの展開や経営者人材の組織的な育成を進め、大学発ベンチャーの創出促進とこれに伴う知財収入等の拡大につなげる。



創立百周年を記念して寄贈された椎木講堂

国内外の同窓会組織など、多様なステークホルダーとの連携強化による寄附金収入の拡大

国内外の同窓会や留学生ネットワークなど多様なステークホルダーとの連携の強化及びファンドレイジング機能の強化を通じて、寄附金収入の拡大を図る。



寄附金により優れた志を持つ優秀な学部学生を支援する「山川賞」

実績内容

- 資源配分・再配分を柔軟かつ最適化する「九州大学機能強化システム」の構築

指定国立大学法人構想

持続可能な社会の発展と人々の多様な幸せ(=well-being)を
実現できる社会に貢献

総合知で社会変革を 牽引する大学へ

世界と伍する 研究力への強化

- 研究戦略会議による研究戦略策定と新たな強み発掘
- 学術の発展及び社会的課題解決に向けた「総合知」創出・活用
- 秀逸な若手・女性・外国人研究者の獲得・育成

- 目標1** 世界最高水準の研究教育を展開する知のプラットフォームとなる
- 目標2** 新たな社会・経済システムを創出するイノベーション・エコシステムの中核となる

社会との連携

- 産学官民連携による社会的課題解決と成果の事業化促進
- 大学発ベンチャー起業促進
- 地域コミュニティとの協働によるシチズンサイエンス

総合知の創出・活用

最優先取組

社会的課題の解決によって社会を変革する取組

エントリポイント

大学の強み・特色を生かして社会的課題の解決に貢献

脱炭素
医療・健康
環境・食料

未来社会デザイン統括本部 総長直轄

ミッション

- 自然科学系と人文社会科学系の知の融合による総合知の創出・活用
- 社会の変革状況等を踏まえたビジョン達成のための戦略策定
- 取組の進捗管理と戦略的資源配分
- 九大版地域連携プラットフォームの橋渡し(調査・提言)

最優先取組

DXの推進によって社会を変革する取組

データ駆動イノベーション推進本部 総長直轄

ミッション

- DXによる「あるべき社会の姿」の研究やその実現のための戦略発信
- データ駆動型教育・研究・医療の展開
- データマネジメント&データガバナンスの構築
- DXにより社会を変革するイノベーション創出への貢献

教育による 価値創造人材の育成

- 課題解決型授業科目やSTEAM教育の全学展開
- 分野融合型学位プログラム等による多様な博士育成
- COIL型教育、DD、JDによる教育の国際化

戦略的資源配分による 各取組の活性化

ガバナンスの強化
経営視点のガバナンスとダイバーシティ環境構築

財政基盤の強化
外部資金等獲得戦略に基づく多様な財源の確保

国際協働

- 戦略的パートナーシップ
大学との国際協働強化
- 共同研究等拡大による国際頭脳循環
- グローバル化に対応する環境整備

施策1

3つの「エントリポイント」から始める 社会変革

自由闊達な研究を基盤に、新たな強み・特色を発掘・伸長

大学の強み・特色を生かして
社会的課題の解決に貢献

「エントリポイント」



脱炭素

- 水素による省エネ
- CO₂回収・変換
- 新たな都市モデルの提案
- 未来エネルギー社会の再構築
- 地域連携の推進



医療・健康

- トランスオミクス解析
- 遠隔医療システム
- プレジジョンメディシン
- 未来医療の提案
- DXによる支援



環境・食料

- マイクロプラスチック循環予測
- 気候強制因子に関する提言
- 生物資源の知財戦略
- スマート農業
- 昆虫資源

「ネクストイシュー」

新たな
強み
・
特色

自由闊達な研究

2つの本部を核とした イノベーションの推進

総長のリーダーシップの下、研究戦略から社会実装まで一体的に推進

戦略立案

社会変革とイノベーションを促す基盤



オープンイノベーションプラットフォーム による社会実装の推進

フューチャーデザイン機能が橋渡しをスムーズに

オープンイノベーションプラットフォーム

